

消防団たずね歩き

新詰所で心機一転

私たち兵庫消防団第3分団は荒田地区・福原地区など兵庫区の中東部を管轄しています。この地域の特徴は、新開地商店街・福原の繁華街などの商業地域と住宅地域が併存していることです。そのため、住宅火災のみならず商店街の店舗・雑居ビルなどの火災にも対応が必要になります。

災害時の活動以外には、防災に関する担い手の育成として防災福祉コミュニティや小中学校と連携して防災ジュニアの育成に精力的に取り組んでいます。今年度は新たな取り組みとして兵庫中学校の1年生を対象にくらしの防災ガイド等を使用して「マイタイムライン」の作成指導を行いました。

私たちの活動拠点である詰所は、荒田公園内にある荒田地域福祉センターに併設していましたが、旧荒田小学校跡地に荒田地域福祉センターと同様に移転となりました。移転先では、隣接されている旧荒田小学校跡地公園で、荒田防災福祉コミュニティと防災訓練を行いました。防災訓練では消火訓練・救急訓練・資機材展示等に加えて、公園に設置されてい

る※「カマドベンチ」を活用した炊き出し訓練を行いました。「カマドベンチ」を実際に使用してみると「火力を確保するのが大変」「やかんが煤で真っ黒！！」など色々な問題と解決策が見つかり良い訓練になりました。

慣れ親しんだ詰所から引っ越しをしてまだ日も浅いため、他人の家に立ち寄ったような感覚で、まだ落ち着きませんが、心機一転、各団員も以前にも増して活動に積極的になっているように思います。立派な詰所に負けないように、今後とも地域の方々と協力して信頼していただけるように、消防団活動に取り組んでいきたいと思っています。

※「カマドベンチ」とは、災害時にかまどとして使用できるベンチのことです。

兵庫消防団 第3分団
分団長 千々松 芳弘



第3分団新詰所（左側建物）